福井市・病院ブロック主催

第9回 食料無料支援に69名来場

コロナ禍の 2020 年 10 月より季節開催してきた食料無料支援プロジェクト。今回 9 回目となり、10 月 29 日（土）に恒例の県社会福祉センター体育館で開催しました。

今回も食品セット袋お渡しのみで、野菜、古着のみ必要な物を 1 品選ぶ形に。今回も組合員、NPO 法人から食品、野菜、古着が届き、収穫時期のサツマイモは何箱分も！職員からも日々食品、古着が生協本部に届きました。

当日は新たなボランティアさんが 2 名加わり、職員 5 名含め 22 名で対応。コロナ禍で体育館の定員は 30 名制限のため、前のロビーで受付、検温、アンケート記入を。開始 30 分前には約 30 名待ちで、開始を早めましたが受付、アンケートが大混雑。

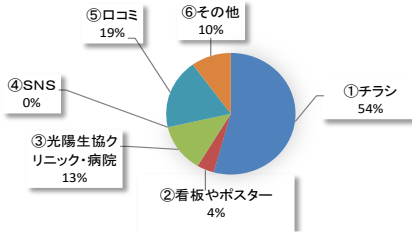
今回は、福大インドネシア留学生 4 名、コロンビアからの家族暮らしの男性など外国籍の方も数名来られ、野菜や米をとても喜んでおられました。また、セット袋を何袋も抱えて行こうとする方や数回入って来る方もおられ、生活困窮の切実さを感じましたが、より多くの方にお渡ししたい旨伝え、1 袋ずつと説明しました。30 分ほどで来場者 69 名、他に自宅渡しが 20 名でした。

アンケート結果はグラフの通りで、70 歳以上高齢者、独居の方が大半を占めています。コロナ禍に加え物価は上がり続け、75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化開始、国民年金保険料納付の 65 歳引き上げ案が出されています。高齢者が安心して暮らせない現状が浮き彫りになっています。

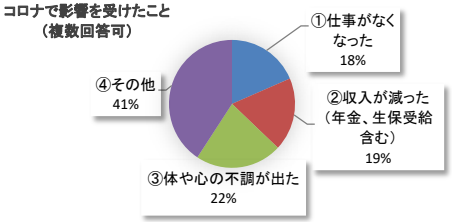
福井市では 9 月に「生活困窮者物資等支援事業」が広報され、医療生協も申請。今年度のあと 2 回の支援に 50 万円の補助金が認められました！本来は命や暮らしは憲法で保障されているはず。保障を求める働きかけも大きな課題です。

来場者アンケート結果から

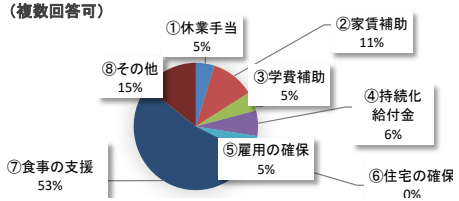
なにで知った？（複数回答可）



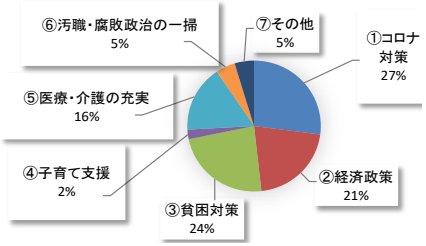
コロナで影響を受けたこと（複数回答可）



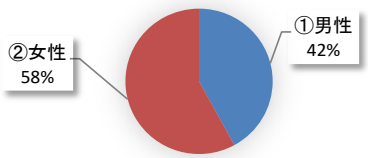
必要な支援、サポートは？（複数回答可）



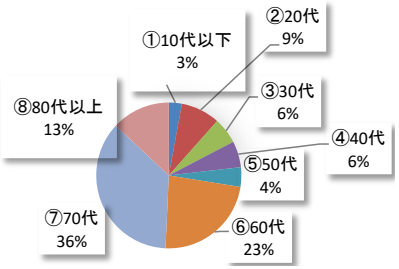
政治に頑張ってほしいこと（複数回答可）



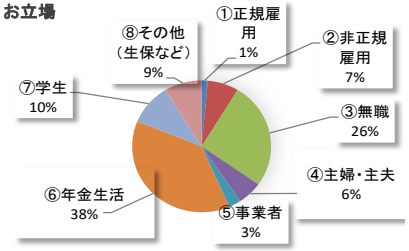
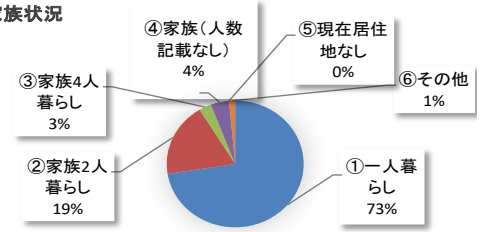
性別



年齢



お立場



家族状況